

# 取扱説明書

電動車いす ラスレル

**RASREL**



## 注意

ご使用になる前に、安全で快適にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあともいつでも読み返せるように大切に保管してください。

【販売元】



人生をもっと楽しく!もっと素適に!

**カシタス株式会社**

【輸入元】



**ノイエス株式会社**

# 取扱説明書

RASREL-1

---

はじめに .....	2
走行診断チェック .....	2
介助診断チェック .....	2
警告 .....	3・4
安全上の注意と操作条件 .....	5
特長 .....	6
図解 .....	6
電池の充電方法 .....	7
電池の取り付け方とロックの方法 .....	8
電池の取り外し方 .....	8
タイヤの圧力チェック .....	8
乗車時の広げ方 .....	9
移動や収納時の折りたたみ方 .....	9
電磁ブレーキの使用法 .....	10
乗り方と降り方 .....	10
ジョイスティック(操作レバー)の使用法 .....	11
電源ボタンと自動OFF機能 .....	12
速度範囲の選択 .....	12
運転方法 .....	12
充電ランプの表示 .....	13
警告ランプの表示 .....	13
移動及び保管方法 .....	14
車に積む方法 .....	15
メンテナンス .....	15
シリアルナンバー .....	16
よくある質問と解決方法 .....	16
製品仕様 .....	17
保証書	

## はじめに

---

このたびはラスレルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

一般的に、電動車いすをお使いいただく場合、間違った使い方をするとケガをしたり車いすが壊れたりするおそれがあります。

障がいの種類や程度によっては一人で操作することが危険な場合があります。

お乗りいただく方だけでなく介助される方も必ず本書をお読みいただき十分ご理解いただいたうえでお使いください。

また、保証書もあわせてお読みください。

ラスレルは法令上、道路を走る時は歩行者として扱われます。

ラスレルの荷重は115kg以下でお使いください。

## 走行診断チェック

---

### チェック1

片手でジョイスティック(操作レバー)を自分の意思どおりに動かすことができますか？

### チェック2

周囲の状況を正しく理解し走行することができますか？

### チェック3

車いすの乗り降りや電池の交換ができますか？

## 介助診断チェック

---

### チェック1

路面や周囲の状況を正しく理解し、危険を避けることができますか？


### チェック2

車いすの乗り降りの補助や電池の交換ができますか？

### チェック3

手動での介助操作ができますか？

## 警告

- 車いすを使用する前に、必ず介助者が必要かどうか専門家の意見を参考に判断してください。ご自身だけで判断しますとご自身や周囲の人がケガをするおそれがあります。
- 本説明書にある警告マークのあとに記載された内容にご注意ください。
- 操作が慣れるまでは低速で運転してください。
- ジョイスティック(操作レバー)を強く押しすぎないでください。軽く押すだけで走行します。ジョイスティック(操作レバー)から手を離すときは、完全に車いすが停止したことを確認してください。
- 傾斜が10度を超えると車いすが転倒するおそれがあります。また、傾斜が7度以上になると注意が必要です。のぼり坂、くだり坂では急な方向転換をしないでください。また、急な坂道での横断や斜め走行はしないでください。バランスを崩しやすく転倒するおそれがあります。
- 踏切や路面電車の線路を横断するとき、線路の隙間にタイヤを落とさないように注意してください。
- 側溝や下水溝の蓋に隙間がある場合、タイヤを落とさないように注意してください。
- 砂利道や泥道ではタイヤが埋まり身動きが取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 凍ったところや、雪や水たまりのある道路はスリップしてコントロールが効かなくなるおそれがありますので注意してください。
- 夜間の走行は、路面の状況が分かりづらく転倒や衝突のおそれがあります。また、周りの人や車から認識されづらく衝突されるおそれがありますので、十分注意してください。
- 路面の状況及び使用者の状態などラズレル本体以外の条件により、スペック表記どおりの性能が出ない場合がございます。
- 駆動部が水に浸かると停止するおそれがありますので注意してください。
- 不慣れな道路での横断の際には交通状況に十分注意してください。
- 混雑した場所で車いすに乗るときには、周囲に十分注意をしてください。人や物にぶつかったショックで体が前方に投げ出されたり、周囲の人にケガをさせたりするおそれがあります。
- 車いすから降りるときは、フットレストから足を確実に外してから降りてください。フットレストに体重をかけると転倒するおそれがあります。

 **警告**

- タイヤの空気が減っているとブレーキ機能が低下しますので、必ず乗車前に確認してください。
- 最大荷重は115kgです。体重が115kg以上の方は使用しないでください。
- ペットあるいは子どもを膝の上に乗せないでください。
- 二人乗りや牽引をしないでください。
- スカーフやマフラー、丈の長い服を着用して使用しないでください。また、紐やハンドバッグなども車輪あるいは他の部品に挟む可能性があります。その他ジョイスティック(操作レバー)の邪魔になる物も同様です。
- スリッパや裸足で乗らないでください。動きやすい靴と服で使用してください。
- ジョイスティック(操作レバー)に物、輪ゴムをかけないでください。レバーが戻らず止まらなくなるおそれがあります。
- 解除ひもに物をかけたり、体重をかけたりしないでください。
- 車いすに乗り降りするときは、電源がOFFになっていることを確認してください。
- 車いすに乗り降りするときは、フットレストに立ったりジョイスティック(操作レバー)に体重をかけたりしないでください。バランスを崩して転倒するおそれがあります。
- 車いすはできる限り坂道に停めないでください。急な坂道の場合は滑り落ちる可能性がありますので注意してください。
- 電池ケースは絶対に開けないでください。液もれが発生して危険です。
- 車いすの改造は絶対にしないでください。
- 携帯電話やスマートフォンなどを使用するときは、安全な場所に停止して電源を切ってください。携帯電話やスマートフォンなどを使用しながら運転すると、事故の原因となるおそれがあります。
- 背もたれレールに重たい荷物などをかけないでください。特にのぼり坂では後ろに倒れやすくなり事故の原因となるおそれがあります。
- 体調が悪いとき、お酒や眠たくなる薬を飲んだときは運転をしないでください。

## 安全上の注意と操作条件


### スピードと方向転換

---

カーブを曲がる前にスピードを落としてください。  
慣れるまでは低速でゆっくりと操作を行ってください。


### 坂道と山道

---

 傾斜のある場所を下るときは、ジョイスティック(操作レバー)でスピードを調整しながらゆっくりと下ってください。ラスレルは10度の傾斜を登ることができますが、できる限り7度以上の傾斜は避けるようにしてください。のぼり坂はできる限りまっすぐに進んでください。くだり坂ではゆっくりと走行してください。坂道で方向転換することはできる限り避けてください。

### 坂道で止まらないこと(傾斜のある歩道も含む)


---

 坂の手前では一旦止まり、坂道を走行するときは常にジョイスティック(操作レバー)を操作しスピードを調整してください。

### 路面条件

---

ラスレルは平坦で乾燥している舗道を選んで使用してください。

 濡れた路面での使用は避けてください。湿気でコントロール力が損なわれてしまいます。本体が濡れてしまった場合は、ジョイスティック(操作レバー)の操作に注意し余裕を持って停車してください。やむを得ず濡れた路面で使用する場合は、低速で走行してください。乾いた草地でラスレルを運転する場合は、操作性が変わります。舗道使用時よりも動力が必要になるため、より力を入れて操作する必要があります。また、濡れた芝生の上では滑って転倒するおそれがありますので注意してください。未整備な道、砂地、雪面など道路状況が悪い場合は使用しないでください。

## 特長

ラスレルは折りたたみができる非常に軽量の電動車いすです。折りたたみ時は厚さ32cm程度で、重さは21.6kgですので車に積んで運ぶことが可能です。軽量リチウムイオン電池を搭載しており、1回の充電で約13kmの走行が可能です。

ラスレルを箱から出し、梱包資材をすべて外してください。完成品として折りたたんだ状態です。完成品になっていますので、組み立てる部品などはありません。

## 図解

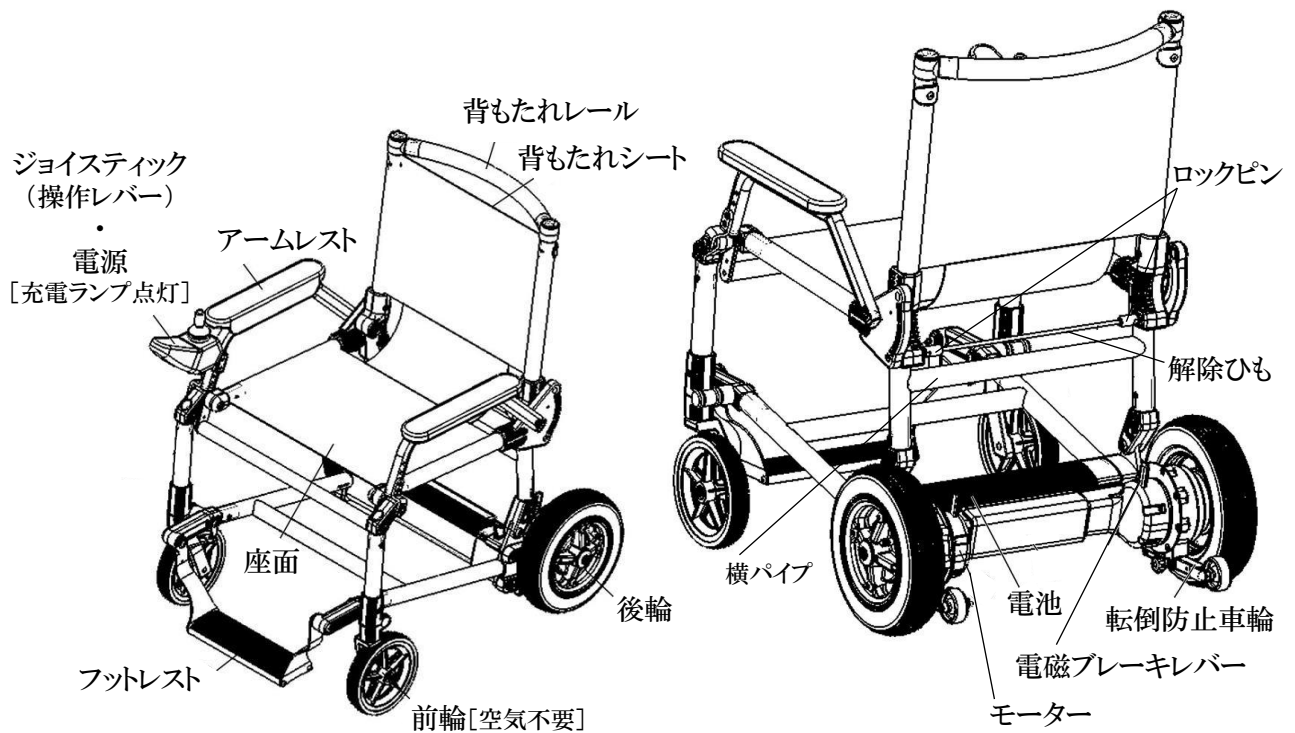
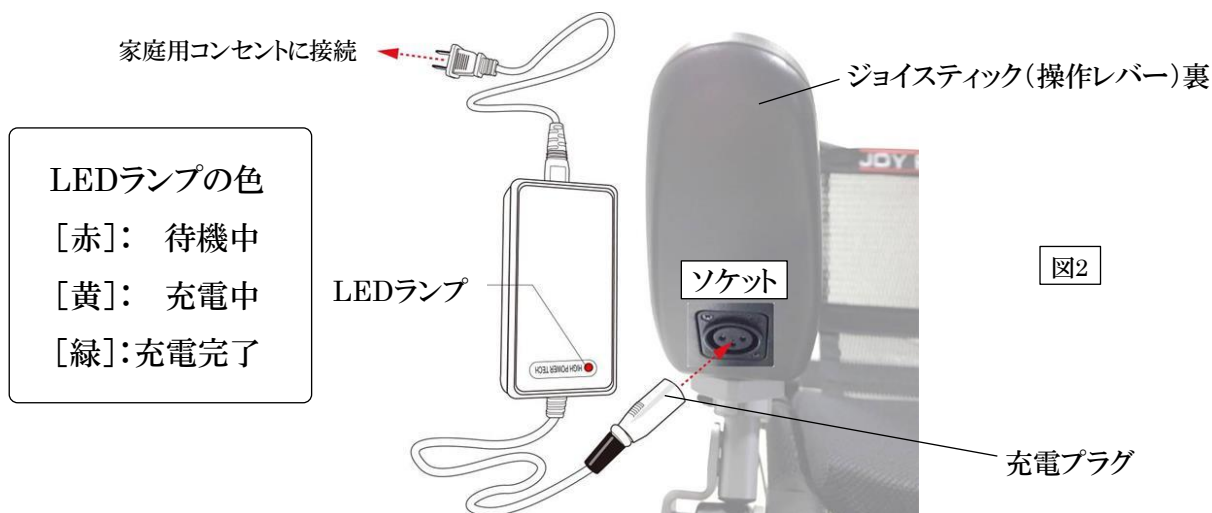


図1

## 電池の充電方法

図2のように、専用充電器に電源コードを差し込み家庭用コンセントに接続します。充電プラグをジョイスティック(操作レバー)裏にあるソケットにしっかりと差し込んでください。LEDランプの色が緑に変わると充電完了の合図です。約4時間で充電が完了します。



**!** 絶対に電池カバーを開けないでください。

中にリチウムイオン電池がありますが、安全のため密封されています。

**!** 絶対に専用充電器以外の充電器を使用しないでください。故障・発火のおそれがあります。

**!** 電池や充電器はまちがった取り扱いをすると、故障やケガの原因になります。下記事項を必ず守ってください。

●  $-5^{\circ}\text{C}$ から $40^{\circ}\text{C}$ の環境で充電してください。寿命を長く保つために、 $0^{\circ}\text{C}$ から $30^{\circ}\text{C}$ の環境を推奨します。

● 幼児やペットが近づくとところで充電・保管しないでください。

● 電池や充電器が変形していたり、いつもと異なることに気づいたときは使用しないでください。

● 壊れたり傷んだりした電池や電源コードは使用しないでください。

● 電池や充電器は火に近づけたり、水をかけたり、改造・分解をしないでください。



## 電池の取り付け方とロックの方法

充電完了後、図3の矢印の順番に(1)から(2)の方向でセットします。電池が完全に入ったことを確認してください。固定レバーを回して電池をロックしてください。

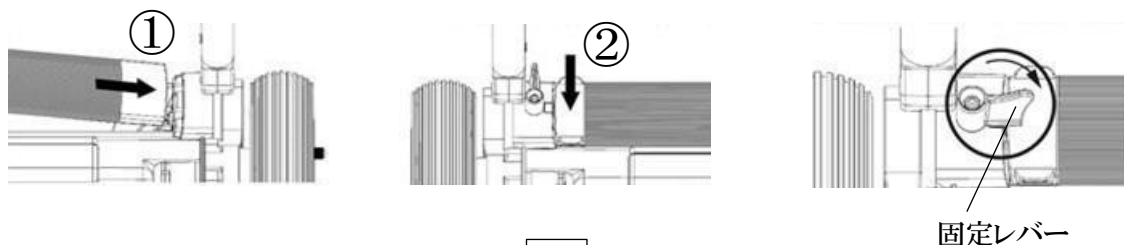


図3

## 電池の取り外し方

電源がOFF(充電ランプが消えている)になっていることを確認してください。図4のように、固定レバーを回してロックを解除し、(2)の方向に取り出します。

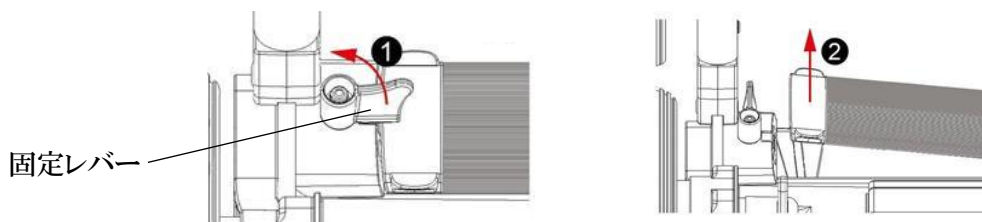



図4

## タイヤの圧力チェック

**!** 後輪の空気が少ない状態で走行すると、ブレーキ機能が低下したり、操作に影響を及ぼしたりします。空気が十分に入っているか確認してから使用してください。空気の入れ過ぎにも注意してください。適正な空気圧は20~28PSI/1.4~2.0BARです。


## 乗車時の広げ方

図5のように、前輪を下にして置きます。電源がOFF(充電ランプが消えている)になっていることを確認してください。解除ひもを引きます。ロックピンがかかる“カチ”という音が聞こえるまで背もたれを引上げてください。転倒防止車輪用ネジを手で緩めて転倒防止車輪を引き出し、ネジを締めてください。

 常にロックピンがかかっていることを確認してください。背もたれレールを前に押して、固定されていることを確認してください。

## 移動や収納時の折りたたみ方

解除ひもを引っ張り、背もたれレールを下に倒します。地面に平行になるように前輪を回します。完全に折りたたんだ状態になると“カチ”と音がしますので背もたれレールを少し持ち上げ、ロックピンがかかっているかを確認してください。転倒防止車輪用ネジを手で緩めて転倒防止車輪を押し込み、ネジを締めてください。

 パイプの横や下に手や指を入れないでください。挟んでケガをするおそれがあります。

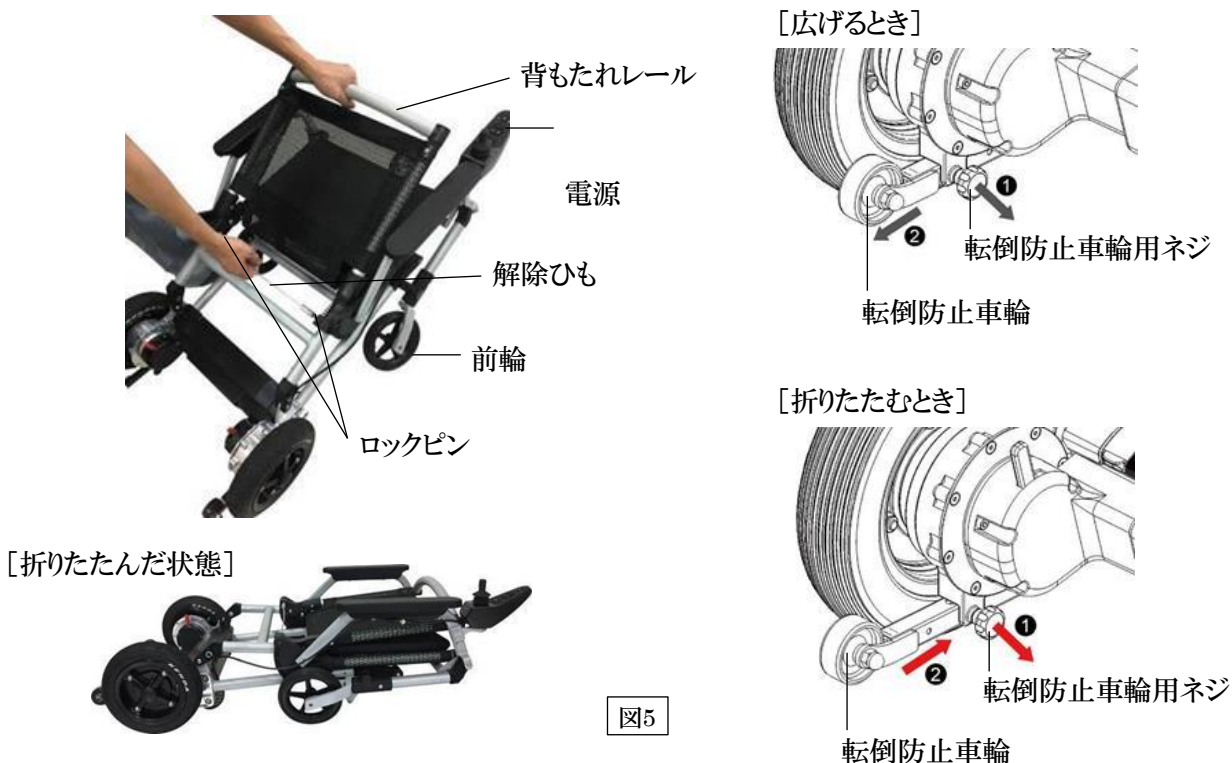
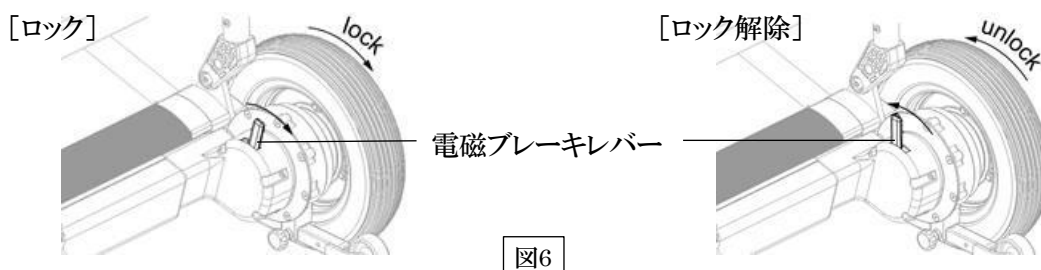


図5

## 電磁ブレーキの使用方法

図6のように電磁ブレーキレバーを矢印の方向に動かすことで“ロック”と“ロック解除”が選択できます。“ロック”の状態では、電源がOFFになっているときやジョイスティック(操作レバー)の操作がされないときにブレーキがかかります。“ロック解除”の状態では電源をOFFにしても手動でラスレルを動かすことができます。ラスレルを使用する前には、電磁ブレーキレバーが“ロック”の状態にあることを確認してください。

 電磁ブレーキレバーの隙間に手や指を挟まないように十分注意してください。



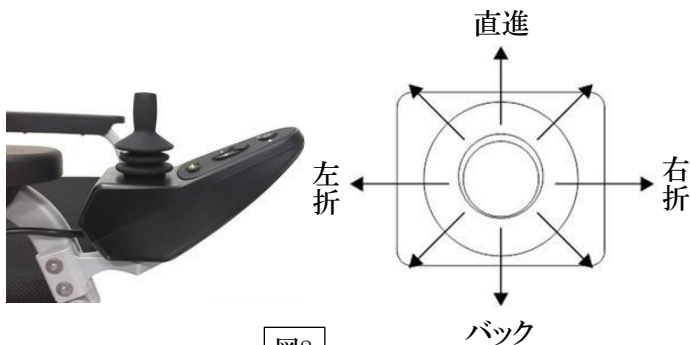
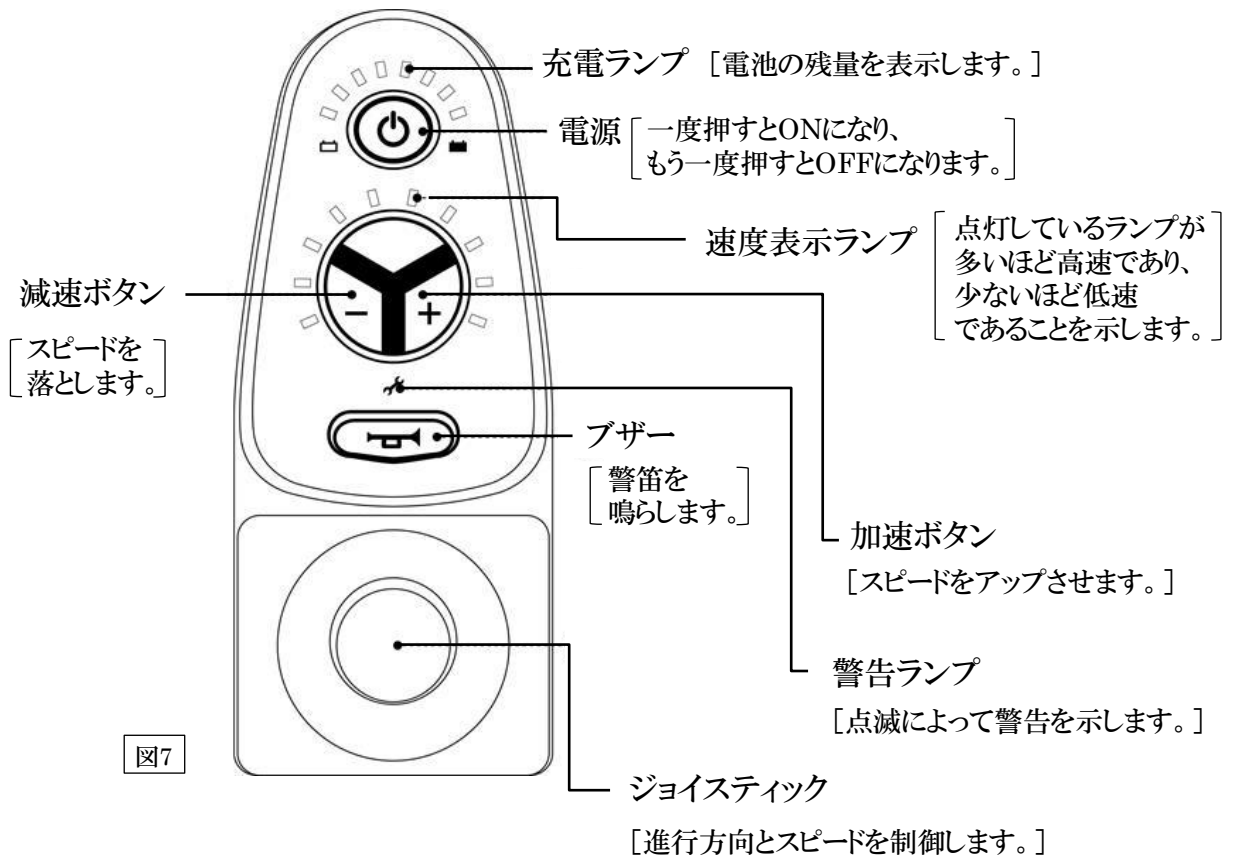
## 乗り方と降り方

まず、周囲の安全を確認してください。次に、電磁ブレーキが“ロック”の状態、かつ電源がOFF(充電ランプが消えている)になっていることを確認してください。ラスレルに座るときは、かかとでフットレストを後ろに押し上げてください。座るときや立つときは足が地面についている状態で行ってください。両手をアームレストに置き、ゆっくりと座ってください。背もたれやジョイスティック(操作レバー)に寄りかかると転倒するおそれがあります。座った後にジョイスティック(操作レバー)を握ってください。

ラスレルから降りるときは、平地で完全に停止した状態であることを確認してください。電源をOFF(充電ランプが消えている)にし、フットレストを上げて、両足を地面につけます。両手をアームレストに置き、立ち上がります。ラスレルが動いてしまう場合もあるので、後ろにもたれかかったり、ジョイスティック(操作レバー)に体重をかけたりしないように十分に注意してください。立ち上がるときは、足がフットレストから離れていることを必ず確認してください。足をフットレストから下した後は、体や衣服がラスレルから離れたことを確認してください。

# ジョイスティック(操作レバー)の使用方法

ラスレルの操作レバーにはコントロールパネルがあります。



進みたい方向にジョイスティックを倒すと走り出します。力を入れるほどスピードが速くなります。また、ジョイスティックをゆっくりと中央の位置に戻すと停止します。

## 電源ボタンと自動OFF機能

---

図7：電源ボタンはプッシュ式です。一度押すと電源がONになり、充電ランプが点灯します。もう一度電源ボタンを押すとOFFになり充電ランプが消灯します。電源が入ったままジョイスティック（操作レバー）の操作がされないときは10分後に自動的にOFFになります。再びONにする場合は、電源ボタンを再度押してください。ラスレルから離れるときには電源を切ってください。

## 速度範囲の選択

---

図7：ラスレルの電源を入れたときには、高速になっています。加速ボタンと減速ボタンで速度を選ぶことができます。速度表示ランプは走行中も点灯しています。室内では安全のため低速で使用してください。

## 運転方法

---



慣れるまでは必ず低速で走行してください。

運転の練習をする際は、広い平地で行ってください。練習は低速で行ってください。低速は余裕を持って操舵の方法を習得するのに適しています。慣れるまで旋回や停止の練習をしてください。

進みたい方向にジョイスティックを倒すと走り出します。力を入れるほどスピードが速くなります。また、ジョイスティックをゆっくりと中央の位置に戻すと停止します。ジョイスティックを急に離すとバランスを崩しやすく転倒するおそれがあります。バックする場合は、特に周囲に注意して使用してください。



加速するほど旋回するときの半径が大きくなることを忘れないでください。

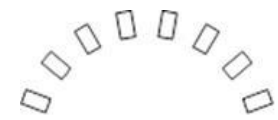


曲がり角では必ず低速で走行してください。曲がり始める前に速度を落とし、低速で曲がってください。

## 充電ランプの表示

---

充電ランプは図9のように電池の残量を表示します。



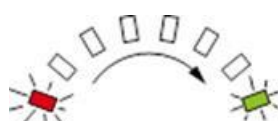
[すべてのランプが消灯している]  
電源がOFFの状態です。



[ランプが点灯している]  
電源がONの状態です。点灯しているランプが多いほど電池の残量が多く、ランプが少ないほど残量が少なくなっています。



[左端の赤いランプが点滅している]  
電池の残量がわずかです。早めに充電してください。



[左から右へ順番に1回点灯する]  
電源の起動中です。



[左から右へ順番に点灯することを繰り返す]  
誤って充電中に電源を入れた場合に表示されます。このとき、操作はできません。

図9



## 警告ランプの表示

---

警告ランプが点滅したときは、電磁ブレーキが“ロック解除”状態である可能性があります。電磁ブレーキレバーを“ロック”の位置にしてください。それでも点滅が消えない場合は、故障など他の原因の可能性がありますので、当社にご連絡ください。

## 移動及び保管方法

ラスレルを持ち運ぶ場合、折りたたんだ状態で背もたれレールを持ち、転倒防止車輪を使用して転がして移動してください。持ち上げる際は、図10のように横パイプと背もたれレールを持ってください。ラスレルの総重量は21.6kgです。運搬に際しては十分に気を付けてください。



図10

ラスレルを保管する際、折りたたんだ状態で壁に立てかけないでください。倒れるおそれがあります。図11のようにジョイスティック(操作レバー)が上になるように置いてください。湿度の高いところ、雨に濡れるところ、直射日光が当たるところ、高温になるところを避けて保管してください。



図11



パイプの横や下に手や指を入れないでください。挟んでケガをするおそれがあります。

## 車に積む方法

---

まず、車のトランクを開けて十分なスペースを確保してください。ラスレルの電磁ブレーキが“ロック”状態になっていることを確認してください。ラスレルを“カチ”と音がするまで完全に折りたたみ、背もたれレールを少し持ち上げ、ロックピンがかかっているかを確認してください。

転倒防止車輪をつかみ、ラスレルが腿に寄りかかるように後方部分を持ち上げてください。

次に、電池部分を腿に当てながら、横パイプを持ってラスレルを持ち上げ、車のトランクに入れます。転倒防止車輪を持ってラスレル全体をトランクに収めてください。

図11のようにジョイスティック(操作レバー)が上になるように置いてください。ジョイスティック(操作レバー)が周囲の物と当たっていないことを確認してください。



パイプの横や下に手や指を入れないでください。挟んでケガをするおそれがあります。

## メンテナンス

---

ラスレルはメンテナンスができるように設計されています。製品の不具合などがありましたら、当社にご連絡ください。



異常がある状態で使用しつづけると、破損、転倒、転落のおそれがあります。

### ● 電池

電池はリチウムイオン電池を採用しています。寿命を長く保つために、30℃以上になる場所、0℃以下になる場所には置かないでください。また、充電完了後は長い時間、充電器につないだままにしないでください。充電器を外し、家庭用コンセントからも外してください。充電が不要なときは、充電器を外しておいてください。

### ● クリーニング

電池やジョイスティック(操作レバー)、モーターは常に乾いた状態にしておく必要があります。乾いた清潔な布で埃や汚れを拭いてください。水をかけたり、スチーム洗浄をしたり、洗浄液などを使用しないでください。



## シリアルナンバー

---

アフターサービスや部品交換の際には、シリアルナンバーが必要となる場合があります。シリアルナンバーは10桁の数字で、後輪の間の黒いコントロールボックスの隣のアルミ板に印字しています。

## よくある質問と解決方法

---

### ● 航空機にラスレルを持ち込めますか？

航空機に電動車いすを積載する場合、サイズ及び予備電池について制限があります。航空機に乗ることが決まったら、電動車いすをご利用されていることを事前に航空会社に連絡し、航空会社の指示に従ってください。サイズ及び電池などについて確認を求められますので17ページの製品仕様をご確認ください。

### ● 乗っている最中に電源が切れてしまいます。

1. 電池が確実に差し込まれているか、固定レバーでロックされているかを確認してください。
2. 電源を一旦OFFにして3秒ほど待ってから電源を入れ直してください。
3. 電池が充電されているかを確認してください。

### ● タイヤが柔らかく感じます。

後輪の空気が十分に入っているか確認してください。空気の入れ過ぎにも注意してください。

## 製品仕様

重量	21.6kg(リチウムイオン電池を含む)
寸法：長さ×幅×高さ	865mm×645mm×910mm
寸法：長さ×幅×高さ (折りたたみ時)	1,115mm×645mm×320mm
シート寸法：縦×横	330mm×420mm
床からの座面高	510mm
最大速度	6.0km/h
走行範囲	13km
最大勾配	10度
旋回半径	900mm
モーター	DCブラシレスモーター 24V, 200W×2
電池	24V, 8.7AH, 210Wh リチウムイオン電池
充電器	24V, 2A
制動方式	電磁ブレーキ
操舵方法	ジョイスティック
前輪	7インチPUソリッドタイヤ
後輪	10インチエアタイヤ(20~28PSI/1.4~2.0BAR)
転倒防止車輪	50mmソリッドタイヤ
最大積載重量	115kg